

学校経営の基本方針

～夢と感動を子どもたちに与えられる学校に～

平成23年 4月1日

伊万里市立波多津小学校 校長 岩崎 一男



1 基本的な考え方

(1) 学校の基本

学校の主役は子どもである。社会が変わっても教育の本質は変わらない。子どもがいるから学校であり、私たちにも仕事がある。「学校は勉強するところ」が根本である。

分からないところを分からせる。
できないことをできるようにさせる。
誤った行いを正しい行いにする。



勉強がわかれば子どもは喜び、親は安心する。何より私たち教師は、子どもが喜んで登校し、親が安心して通わせる学校をつくらなければならない。

それとともに、子どもたちには、本校で多くの感動を体験させ、夢を持って成長してほしいと願う。子どもたちが「波多津小で学べてよかった」と思えるような一年にしていきたい。

(2) こんな学校に

子どもの成長を第一に願い、子ども一人一人を大切にし、明るく楽しい学校生活を通して、「自ら学び、心豊かに明るくたくましく、生きる児童の育成」に努めていきたい。

そのためには、職員一人一人が、自分の持ち場で一生懸命に働き、職員一同が協働することが大事である。また、地域の方々との交流を通して願いや生き方に触れ、ふるさとを愛する心を育てたい。そうして、波多津小学校が「子どもたちに夢と感動を与えられる学校」となるよう目指していきたい。

2 本校教育目標

自ら学び、心豊かに明るくたくましく生きる児童の育成
～夢と感動を子どもたちに 地域とともに歩む学校に～

校訓 精いっぱい

○ こんな学校に（目指す学校像）

- ① 真剣に学習に取り組み、活気のある学校
- ② よさを認め合い仲よく助け合う学校
- ③ 家庭・地域と連携を深め、開かれた学校

○ こんな子どもに（めざす子ども像）

- ① よく考え、進んで学習する子ども
- ② 友だちと協力し、相手を思いやる明るい子ども
- ③ 将来への夢を持ち、何事にも積極的に挑戦し、がんばる子ども



○ こんな教師に（めざす教師像）

- ① 教育公務員としての自覚を有し、児童、保護者、地域社会から信頼される教師
- ② 日々新たに、研修・研鑽に励む教師
- ③ 一人一人の子どもを愛し、教育に使命感を持つ教師
- ④ 健康保持に率先して努め、心身ともに健全ではつらつとした教師

3 本年度教育の重点

- ① 「自ら学ぶ力の育成」（知）
- ② 「心に響く教育」の推進（徳）
- ③ 「健康・安全教育（一輪車教育）」の推進（体）
- ④ 地域と結びつき、開かれた学校づくりの推進（地域連携）



4 教職員としての心がまえ

- ① 組織の一員として（学校は組織体で動く）
- ② 報告連絡相談（ホウレンソウ）をこまめに（自分だけで抱え込まない）
- ③ 職場内のコミュニケーションを（あいさつや会話がひびく職場に）
- ④ 教育は環境から（自分の机の整理から校舎内の美化まで）
- ⑤ 出勤は余裕を持って（朝は余裕を持って出勤し、子どもを迎えよう）
- ⑥ 教育公務員としての自覚を（学校の信頼が失われないように）